



平成27年9月5日発行 No.14



巻頭言

『これからは“健康を保つ”、
すなわち「治療」ではなく、「保健」が大切』

とくなが小児歯科クリニック “レオ”

徳永順一郎

戦後70年が経過しました。日本小児歯科学会も50年、私の小児歯科臨床も45年が過ぎました。一昔前（4～50年前）では3歳児の齲歯罹患者率は85%（1960年代）を超えていました。その頃の子どもの口の中は“むしばの洪水”と言われるほど、散々たる状態でした。真剣に「上水道のフッ素化」を訴えていました。

1969年ごろ（昭和49年オイルショック）、「歯の110番」と称して、マスコミが、歯科業界への大バッシングを展開し、きっかけとなり、歯科界に「予防」という2字が着目されだしました。

ようやく「小児歯科」が、日の目を見ることになりました。

厚生労働省（当時は厚生省）は歯科医療行政の見直しを行いました。その効果は抜群で、むし歯は激減し、子どもたちの口の中は信じられないほど“治水？”されてきました。歯科大学の増設（8校→29校）も行われました。

現在、3歳児健診で乳歯のむし歯をみつけることが困難になるほどになりました〔3歳児う蝕罹患率85%（1960年代）→20%（2000年代）〕。小学校の健診においてもしかし、むし歯の無い子は全くない、ある子はむちゃくちゃある、という2極化現象が生じています。

開業（1979年）して間もないころ、マスコミは子どもたちの口の中には顎と歯の大きさの不調和（不正咬合）、歯肉炎、顎関節症等などが増加してきたことを話題にし始めました。また子どもたちの中で「噛まない・噛めない・飲み込めない子」が増えてきたことも指摘していました。食習慣の中で「噛むこと」は人間の能力開発の第一歩です。なのになぜ？近年、日本において「過食の時代」、「飽食の時代」と言われて久しい。その環境の変化が一番最初に現れて来るのが子どもたちなのです。そして近ごろは赤ちゃんのうちからの口腔およびその周囲の機能（捕食・咀嚼・嚥下・呼吸など）の問題点が着目されだしました。

小児歯科に携わる我々にこれからより求められることは、今、目の前にいる子ども、とくに乳幼児がどんな環境下で育児されているかをいち早く把握し、充分に理解し、的確なアドバイスができるようにしていきたいものです。これからは“健康を保つ”、すなわち「治療」ではなく、「保健」が益々大切になっていきます。

第33回 近畿地方会大会を終えて

準備委員長 原田 京子

第33回日本小児歯科学会近畿地方会大会および総会は、平成26年10月5日（日）に大阪歯科大学小児歯科学講座担当のもと、大阪歯科大学創立100周年記念館にて開催されました。当日は大型で強い台風18号の接近中にもかかわらず、歯科医師292名、コ・デンタルスタッフ122名の参加を賜りました。

少子・人口減少社会に突入したわが国では、ますます子どもの心身の健康と母親への子育て支援の重要性は高まっており、小児歯科の役割もさらに拡大していることから、子どもたち（=未来）のために新たな小児歯科学・小児歯科医療を構築したいという思いを込めて、本大会のテーマを「未来のためにリスタート」とし、企画を行いました。

特別講演には、セロトニン研究の第一人者である有田秀穂先生（東邦大学名誉教授、セロトニン Dojo 代表）に「子供と母親のセロトニン欠乏脳をめぐって」と題して御講演頂き、現代の子どもや母親のこころとセロトニンの関連やセロトニンと咀嚼との関連性についてお話し頂きました。教育講演は、わが国で最も早く臨床に ICDAS を導入された杉山精一先生（日本ヘルスケア歯科学会代表、千葉県八千代市開業）に「ICDASを取り入れた新しいカリエスマネジメント」と題して御講演頂きました。認定歯科衛生士セミナーでは、岡崎好秀先生（モンゴル健康科学大学客員教授）に「泣きの予防も予防の一つ」と題して、世界一聞きたい歯科衛生士のための授業をして頂きました。各講演とも満員の状態にもかかわらず熱心に聴講いただき、多



くの参加者の皆様にとって今後の臨床への大きな糧となったことだと思います。

また、一般展示発表は30題という多数の発表があり、さらに専門医更新発表6題、認定衛生士申請発表2題、計38題の発表に関して有意義な討論が交わされました。商業展示では7社の出展をいただきました。

本大会の開催にあたり、大阪府歯科医師会の御後援を賜りました事を厚く御礼申し上げますとともに、日本小児歯科学会担当理事の先生方、関係された多くの皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

次回の第34回近畿地方会大会は、平成27年10月25日（日）に、大会長吾妻昭夫先生のもと大阪国際交流センターで開催されますので、多数のご参加をお願い申し上げます。



近畿地方会県別会員数（H27年8月現在）

	正会員	衛生士会員	名誉会員	会員数合計	専門医指導医	専門医 (指導医を含む)	認定医	認定歯科衛生士
滋賀	36	4	0	40	1	10	2	1
京都	60	0	0	60	1	14	2	3
大阪	307	21	2	330	14	90	12	20
兵庫	146	20	1	167	3	46	4	3
奈良	32	1	0	33	1	7	3	3
和歌山	17	0	0	17	0	4	0	0
合計	598	46	3	647	20	171	23	30

平成27年度 こども健康週間県別代表者

府県名	代表者名
大阪府	梶本祐一郎 先生
兵庫県	春木 隆伸 先生
京都府	笹井 浩司 先生
奈良県	池尾元三朗 先生
和歌山县	金尾 好章 先生
滋賀県	池本 博之 先生

平成26年度 一般社団法人 日本小児歯科学会近畿地方会 会計報告

一般会計

収 入	本学会からの援助金	¥ 844,000
	第33回近畿地方会大会 援助金残金	¥ 0
	預金利息	¥ 45
	合 計①	¥ 844,045
支 出	通信会議費	¥ 42,323
	第33回近畿地方会大会 援助金 + 振込手数料	¥ 500,432
	ニュースレタ－13号経費 + 振込手数料	¥ 183,816
	第34回近畿地方会大会 準備金 + 振込手数料	¥ 117,474
	合 計②	¥ 844,045
	合計① - 合計②	¥ 0
	通信会議費 詳細	¥ 9,711
	事務費	¥ 32,612
	合 計	¥ 42,323

特別会計

収 入	普通預金	¥ 1,382,109
	スーパー定期	¥ 500,000
	預金利息	¥ 605
	合 計	¥ 1,882,714
支 出	なし	¥ 0
繰 越	普通預金	¥ 1,382,714
	スーパー定期	¥ 500,000
	合 計	¥ 1,882,714

平成27年度 一般社団法人 日本小児歯科学会近畿地方会 予算(案)

一般会計

収 入	本学会からの援助金	¥ 840,000
	第33回近畿地方会大会 援助金残金	¥ 0
	預金利息	¥ 50
	合 計	¥ 840,050
支 出	通信会議費	¥ 100,000
	第34回近畿地方会大会 援助金	¥ 500,000
	ニュースレタ－14号経費	¥ 200,000
	第35回近畿地方会大会 準備金	¥ 40,050
	合 計	¥ 840,050

特別会計

収 入	普通預金	¥ 1,382,714
	スーパー定期	¥ 500,000
	預金利息	¥ 600
	合 計	¥ 1,883,314
支 出	なし	¥ 0

※残金は来年度へ繰り越し

第34回近畿地方会および総会のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第34回日本小児歯科学会近畿地方会及び総会を下記の要項にて開催します。

会員の皆様をはじめスタッフの皆様方の奮ってのご参加をお願いします。

謹 白

記

テー マ：「未来を担う子どもに素敵な笑顔を！」

大会期日：平成27年10月25日（日）午前9時～午後4時30分

会 場：大阪国際交流センター 大阪市天王寺区上本町8-2-6 TEL：06-6772-5931

参 加 費：歯科医師 5,000円 コ・デンタルスタッフ 3,000円

学生・一般 無料（託児補助金あり）

特別講演：「“子どものアレルギーは腸で治す”消化器の摩訶不思議」

藤田紘一郎先生（東京医科歯科大学名誉教授）

教育講演：

1. 「歯科治療と感染性心内膜炎－小児歯科医として必要な知識から最新の研究成果まで」

仲野 和彦先生（大阪大学教授）

2. 「食生活からの母子関係・子どもの未来を考える」

根ヶ山光一先生（早稲田大学教授）

コ・デンタルセミナー（認定歯科衛生士認定更新必須研修セミナー）

「今さら聞けない基本から最新の予防法まで～隣接面齲歯を考える～」

桜井 敦朗先生（東京歯科大学講師）

ランチョンセミナー（昼食付き）

「コンポジットレジンの不思議な世界～見て・聞いて・考えて～」

平成27年度総会

会員展示発表・認定医更新展示発表・専門医更新展示発表

商業展示

後 援：大阪府・大阪府歯科医師会・大阪府歯科衛生士会

担 当：大阪小児歯科専門医臨床研究会（OSP）

<http://www.osp.ne.jp>

大 会 長：吾妻 昭夫 準備委員長：金澤 真亨

事 務 局：大阪市住之江区中加賀屋4-2-1（あづま小児歯科 内）

TEL：06-6683-7575 FAX：06-6686-2737

E-mail：azuma.dc@gol.com

平成27年度 日本小児歯科学会地方会開催日程

◆北日本地方会

第33回北日本地方会大会および総会

大 会 長：鈴木 広幸

テ ー マ：「むすぶ、つなぐ、はぐくむ…こどもたちの明るい未来へ向けて」

会 期：平成27年10月11日（日）

会 場：スパリゾートハワイアンズ

〒972-8326 福島県いわき市常磐藤原町蕨平50 TEL：0246-43-3191 FAX：0246-44-6220

大会内容：1) 教育講演

「社会的引きこもり者に対する歯科保健医療について」

小松崎 明先生（日本歯科大学新潟生命歯学部衛生学講座教授）

2) 講 話

「言語聴覚士から診た摂食、嚥下そして発音について」

大平裕太郎先生（いわき食介護研究会ぶらす代表、

株式会社言語ビズ代表取締役 言語聴覚士）

3) 一般講演

口頭・展示発表

4) 専門医・認定医資格更新ケースプレゼンテーション

5) 総 会

6) ランチョンセミナー

会員懇親会：平成27年10月11日（日）午後7時～

スパリゾートハワイアンズ ラピータ

専門医セミナー併催：

テーマ：「小児期における咬合誘導」

山城 隆先生（大阪大学大学院歯学研究科顎顔面口腔矯正学教室）

福本 敏先生（東北大学大学院歯学研究科口腔保健発育学講座小児発達歯科学分野）

認定衛生士セミナー併催：

「歯科治療が難しい子どもへの接し方」

土岐 志麻先生（とき歯科 青森市）

大会事務局：〒973-8402 福島県いわき市内郷御厩町四丁目119 鈴木歯科小児歯科医院内

準備委員長：菅原 勝人 TEL：0246-26-2918 FAX：0246-27-0125

リゾート地での開催ですので是非、ご家族・ご友人らとお越しいただき、場所に合わせてハワイアンスタイル（アロハシャツ、ムームー）、ノーネクタイでご参加ください。お子様も参加登録（無料）できるようにします。託児所も設置しておりますのでご利用ください（要事前予約）。

◆関東地方会

第30回関東地方会大会および総会

メインテーマ：「グローバルな小児歯科を目指して！」－他職者の心にふれ、子どもに活かそう－

会 期：平成27年9月13日（日）午前9時より

会 場：シェーンバッハ・サボー（砂防会館）

大会会長：早川 龍 準備委員長：浜野 美幸

大会内容：1. 特別講演

「子連れ留学と研究生活～医薬品・化粧品・抗ストレス食品の開発」

室伏きみ子先生（お茶の水女子大学学長）

2. 記念講演

「子どもの脳と食育」

澤口 俊之先生（人間性脳科学研究所所長）

3. 教育講演《認定歯科衛生士認定更新必須研修セミナー》

「歯はこころの窓－歯科診療の視座を変える－」

秋山 邦久先生（越谷心理支援センター所長）

4. シンポジウム

「子どもの成長発育と健康」

塙 佳生先生（東京小児科医会副会長）

辻 祐一郎先生（日本小児科医会常任理事）

5. 若き研究者の集い

6. ランチョンセミナー

「痛みを抑え、皮膚の健康を守る新規物質－cPA」

諸星 俊郎先生（SANSHO 株式会社代表取締役社長 薬学博士）

「口唇圧の測定法について」

齊藤 一誠先生（新潟大学小児歯科学准教授）

7. 特別企画 9大学ポスター

「医局員教育について」

8. ポスター発表

1) 一般演題発表

2) 専門医・認定医資格更新用プレゼンテーション

3) 認定歯科衛生士資格申請用プレゼンテーション

9. 記念式典・祝賀会 大会終了後、B会場にて開催いたします。

参 加 費：5,000円

連 絡 先：日本小児歯科学会関東地方会 第30回記念大会・総会 準備委員会事務局

〒145-0063 東京都大田区南千束2-28-12 千葉歯科医院内 浜野 美幸

FAX：03-3729-2572 E-mail：jspd.kantoh30@gmail.com

◆中部地方会

第34回中部地方大会および総会

テー マ：「“みる”からはじまる子どもの歯科医療」－地域のなかで私たちができること－

会 期：平成27年11月23日（月・祝）午前9時～午後4時30分

会 場：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT アートスペース

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地

大 会 長：星野 周二 準備委員長：中野 崇

大会内容：1. 特別講演

「口の発達を支援する -子どもと口の未来のために-」

坂下 玲子先生（兵庫県立大学看護学部教授）

2. シンポジウム

「学校（園）歯科健康診断の盲点を考える

－学校（園）歯科医と小児歯科医の共通認識を求めて－」

佐藤 厚先生（コーディネーター：さとう子ども歯科医院）

「そ�だつのか！学校歯科 -学校歯科健康診断編-」

久田 徳彦先生（愛知県歯科医師会学校歯科保健部）

「学校歯科健康診断は何が変わり、小児歯科医はどうすべきか」

犬塚 勝沼先生（いぬづか子供歯科クリニック）

「小児歯科医が関わった学校歯科健診後の勧告用紙改善までの経緯とその後」

佐藤 厚先生（さとう子ども歯科医院）

3. 教育講演

「地域医療における発達障害を疑う患者への対応

－ある発達障害児への支援が自律へ－」

「発達障害の子どもを持つ父親の立場から -子どもから学んだこと-」

佐藤 公彦先生（豊川市歯科医療センター障害者歯科担当歯科医師）

「発達障害児への食事支援のための筋機能訓練」

榎原 裕子先生（豊川市歯科医療センター障害者歯科担当歯科衛生士）

4. 歯科衛生士セミナー

「“みる”からはじまる東三河の小児歯科 -小児期における口腔保健管理の実際-」

福田 理先生（コーディネーター：愛知学院大学歯学部小児歯科学講座教授）

1) 小児歯科専門医院の立場から

北川真奈美先生（星野小児歯科）

2) 一般歯科医院の立場から

大澤 佳代先生（わたつ橋歯科医院）

3) 小児歯科専門医の所属する一般歯科医院の立場から

関原 愛先生（今泉歯科）

4) 歯科衛生士学校の教育の立場から

清水 里子先生（豊橋歯科衛生士専門学校）

5. ポスター発表

1) 一般演題発表

2) 専門医・認定医資格更新ケースプレゼンテーション

6. 総 会

7. 商業展示

懇親会：平成27年11月22日（日）午後6時30分～

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT アートスペース

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地

連絡先：〒440-0864 豊橋市向山町塚南14-4 向山フォレスタ DUE 2F

豊橋キッズデンタルクリニック
第34回日本小児歯科学会中部地方会大会事務局
準備委員会：中野 崇
FAX：0532-39-7682 E-mail：jspd34chubu@gmail.com
(電話によるお問い合わせはご遠慮ください)

◆中四国地方会

第34回中四国地方会大会および総会

テー マ：「高知家で子どもたちの未来を語ろう！」
会 期：平成27年10月4日（日）午前9時～午後4時15分
会 場：高知城ホール

〒780-0850 高知県高知市丸ノ内2丁目1番10号
大 会 長：浜田 義彦（はまだ子ども歯科・矯正歯科）
準備委員長：上田 公子（徳島大学病院小児歯科）

大会内容：1. 特別講演

「子供の時代の日本はどうなってるか？」
武田 邦彦先生（中部大学総合工学研究所）

2. 教育講演

「赤ちゃんの健やかな発達を目指して－新生児期の痛みは将来に影響する！？～」
福原 里恵先生（県立広島病院新生児科）

「裁判の常識と非常識」

高見 秀一先生（ヒューマン法律事務所）

3. 歯科衛生士セミナー

「子どもたちと共に学び・歩み・成長できる歯科衛生士」
川端 順子先生（カノミ矯正・小児歯科クリニック）

4. 一般発表：展示発表のみ

5. 専門医・認定医更新展示発表

6. 商業展示

懇親会：平成27年10月3日（土）午後7時～

〒780-0832 高知市九反田9番15号 ホテル日航高知 旭ロイヤル
TEL：088-885-5111

連絡先：〒770-8504 徳島市蔵本町3-18-15 徳島大学大学院医歯薬学研究部小児歯科学分野内
第34回日本小児歯科学会中四国地方会事務局
TEL：088-633-7359 FAX：088-633-9132

◆九州地方会

第33回九州地方会および総会

メインテーマ：「小児歯科における医療連携」
会 期：平成27年11月15日（日）

会 場：福岡県歯科医師会館

大 会 長：柳田 憲一（福岡市立こども病院小児歯科・科長、九州大学臨床教授）

準備委員長：増田 啓次（九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野講師）

同 補佐：野中 和明（九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野教授）

大会内容：1. 基調講演

「小児医療の進歩－現状と今後の課題－」

福重淳一郎先生（福岡市立こども病院名誉院長）

2. 特別講演

「Education, Clinical Activity, History as well as Future Strategy for the Patient in Special Need Dentistry at North Carolina」

Tim Wright 教授（ノースカロライナ大学小児歯科）

3. シンポジウム

「より安心・安全な小児歯科医療を目指して」

月森 清巳先生（福岡市立こども病院周産期センター長）

「妊娠中の歯科治療とくすり」

吉田 敬子先生（九州大学病院こどものこころの診療部特任教授）

「児童精神医学の領域からのポイント」

古賀 友紀先生（九州大学病院小児科助教講師）

「小児がん治療の現状と晚期合併症」

永田 公二先生（九州大学病院小児外科助教）

「小児領域において知っておきたい医療安全管理－異物の誤嚥・誤飲を中心に－」

4. 衛生士セミナー

テーマ「障害児（者）および有病児の歯科的アプローチ」

立川 義博先生（佐賀堅肢学園こども発達医療センター歯科室長）

「自閉症児に効果のあるリラックス法」

廣田 和子先生（廣田歯科 歯科医師）

「衛生士と、地域における障害者および有病者の関わり」

渡辺 善久先生（きららデンタルクリニック 院長）

「未来にむけての、取り組み」

山下 薫先生（九州大学病院 小児歯科・スペシャルニーズ歯科 歯科衛生士）

「当院における有病児への口腔ケアについて」

5. ポスター発表

1) 一般演題発表

2) 専門医・認定医専門医更新用プレゼンテーション

6. 懇親会：西鉄ソラリアホテル（予定）

連絡先：第33回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会事務局

九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座小児口腔医学分野内

大会準備委員長：増田 啓次

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

E-mail : kemasuda@dent.kyushu-u.ac.jp TEL : 092-642-6402 FAX : 092-642-6468

第10回アジア小児歯科学会 第54回日本小児歯科学会

10th Biennial Conference of the Pediatric Dentistry Association of Asia
in conjunction with 54th Annual Conference of the Japanese Society of Pediatric Dentistry

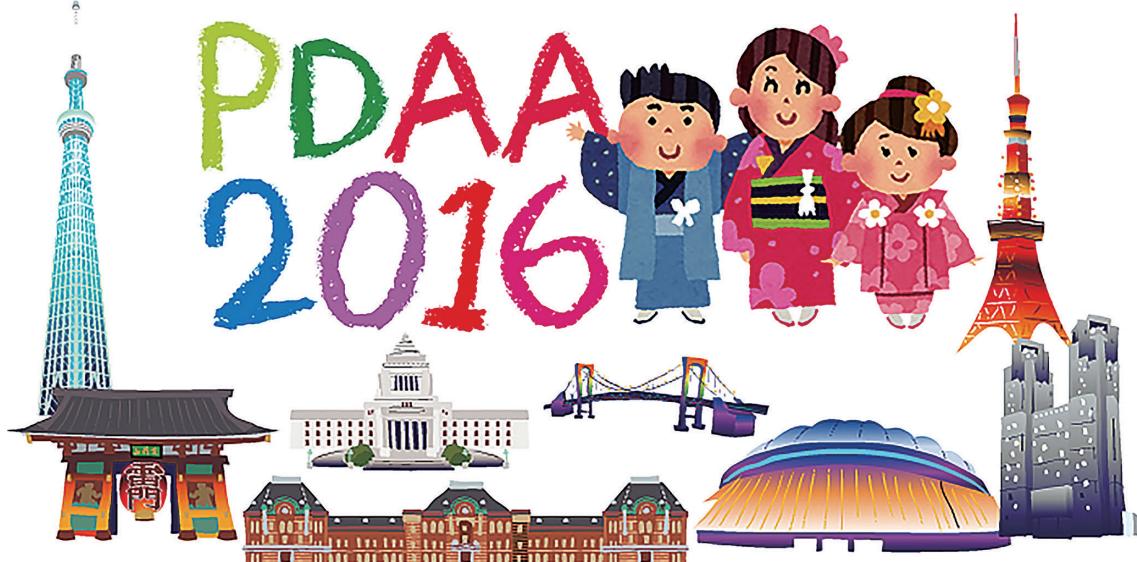
“Kizuna(絆)”

-Greater Solidarity for Asian Children-

会期 2016年5月26日(木)～5月28日(土)

会場 東京ドームホテル

大会長 新谷 誠康(東京歯科大学 小児歯科学講座 教授)



演題登録は2015年11月9日(月)
より開始されます

運営事務局 株式会社コンベンションリンクージ内
〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル
TEL: 03-3263-8686 FAX: 03-3263-8693

《日本小児歯科学会近畿地方会》

平成26・27年度役員名簿

会長	佐伯 克彦
副会長	有田 憲司・仲野 和彦
会計	野村 良太・佐々木秀和
庶務	春木 隆伸・岡本 篤剛
監事	樂木 正実・松尾 博之
顧問	嘉ノ海龍三・梶本祐一郎
歯科衛生士会	永井るみこ
大学	原田 京子・園本 美恵・人見さよ子・大川 玲奈
滋賀県	池本 博之・中林あつ子
京都府	大原 裕・笛井 浩司・中村 弘之・仲岡 佳彦
奈良県	池尾元三朗・中川 佳昭・林 昌司
和歌山県	金尾 好章・田岡 郁敏
大阪府	吾妻 昭夫・野々村栄二・大橋 健治・大西 智之・大道 士郎
	川口 護・棄原 康生・副島 之彦・中原 弘美・淺田 匠彦
兵庫県	石井 信行・金澤 真亨・亀井有太郎・曾根由美子・竹内 幸雄
	徳永順一郎
名誉会員	祖父江鎮雄・大嶋 隆・嘉藤 幹夫
	(順不同)

●編集後記

「先生、子どもを連れてきました。」最近、そう言って訪ねてくださる患者さんが増えてきた。小児歯科医として非常に嬉しい瞬間だ。「お母さんは虫歯が多かったから、気を付けようね」とか、「お母さんは埋伏歯があったから、3歳になつたらパノラマ撮ってみようね。」そんな会話をしながら子どもたちに囲まれて楽しく仕事をさせていただいている。巻頭言を戴いた徳永先生は、臨床歴45年とのこと。もしかしたら、「孫を連れてきました」と、3代続けて診ているお子さんもおられるのでは。

小児歯科医として育ててくださった多くの先生方のおかげで、不惑の年はとっくに過ぎ、天命を知らねばならない年になった私にとって、少しずつ天命の持つ意味を考えられるようになってきた。口腔を介して子ども達が健やかに育っていくためには、「臨床の勉強には終わりはない。常に勉強しなさい。」そうだったんだ。きっとそうなんだ。

(グリーンアスパラ)

今回、会報発行にお手伝い頂いた方々

徳永順一郎・原田 京子・吾妻 昭夫・野村 良太
佐々木秀和・田邊健一郎・岡本 篤剛・石井 信行
春木 隆伸
(敬称略)

《住所変更（会誌送付先の変更）方法》

新・旧住所を事務局あて書面（FAXもしくはE-mail）にて下記までご連絡下さい。

一般財団法人 口腔保健協会内 日本小児歯科学会（事務局）

FAX: 03 (3947) 8341

E-mail: gakkai38@kokuhoken.or.jp

日本小児歯科学会 HP

<http://square.umin.ac.jp/jspd/>

平成27年8月31日 印刷

平成27年9月5日 発行

発行者 一般社団法人 日本小児歯科学会近畿地方会
会報編集委員会

印刷所 日昌印刷（株）